



きんぼし
東大阪

株式会社松よし人形 (人形工房松寿)

〒577-0843

東大阪市荒川 1-10-4

TEL 06-6722-0161

FAX 06-6727-1455

http://www.matsuyoshi-doll.co.jp/



代表取締役
小出 道子

★創業
1960年(昭和35年)

★資本金
1,000万円

★従業員
17人

★主要営業品目
雛人形、市松人形、一般人形の製造卸・小売

★独自技術・製品
雛人形(オリジナル商品)

いつの時代にも 伝統工芸の心を

(株)松よし人形は1960年、初代社長が尾山人形で創業、数年後には前社長が2代目として家業を引継ぎ市松人形、雛人形と製造品目を拡大した。3代目が引き継いだ現在、関西では技術と生産量でトップを誇っている。

小出社長は「昔は七段飾りの雛人形や脇飾りである市松人形がよく売れたのですが・・・。」と話す。一時は同社の市松人形が口コミで広がり全国から年間五千体もの発注を受け、また、雛人形の七段飾りは30～40組の受注があった。現在は親王飾り(殿姫のみの飾り)が主流となってきた。

同社の雛人形の木胴には桐が使用され、その中に樟腦くすのきの材料である樟を挟み込んでいる。また頭を挿す部分には、従来は藁わらであったものが、代わりに藺草いぐさを使用し、虫除けを可能にした(特許取得)。市松人形・雛人形の頭は専門の職人が手掛けており、同社オリジナルの頭を制作している。

華やかで、繊細な人形作りの中で重要なのが衣裳の色合わせである。以前は人形の選択権は"親御さん"であったが今では"若夫婦"となり、インテリアにあった多種多様な商品を求める傾向にある。そのため同社でも古典的な柄の生地や現代的な生地まで、幅広い素材から厳選したものを的確に商品化している。

また、現代の住宅事情や生活様式の変化で、商品は小型化の一途であり、その中でも「良いものを長く持ち続けたい」「自分の納得いくものを手に入りたい」という顧客は少なからず存在することから、大量生産品では満足できない顧客に向けた、細かいニーズの商品化を目指す。

同社の男女構成比は圧倒的に女性が多い。小出社長は「時代に合ったモノづくりを先々代、先代から受け継いだ技術力と女性の目線を大切に発信していきたい」と語る。また社長自らが商品企画はもとより人形制作にまで携わることでその思いを商品に反映させている。最近では店舗で和小有物の販売や「つまみ細工」製作のワークショップを定期的で開催し、伝統文化に触れる機会を積極的に設け、普段の生活の中でも忘れられがちな「日本の伝統文化」を伝え続けている。

